



二俣尾の

F U T A M A T A O

森を守る



## ——二俣尾・武蔵野市民の森



二俣尾・武蔵野市民の森の遠景と多摩川

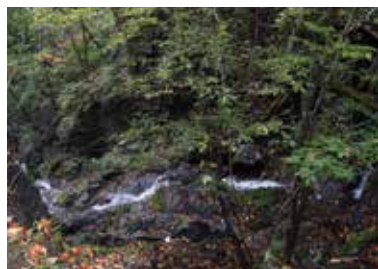
## ——多摩地域の森林が果たす重要な役割

多摩地域の森林は東京都の3分の1の面積を占めており、そのうち60%はスギやヒノキの人工林です。木材が主要な建設資材だった江戸時代から、多摩の森林は適正に管理され、都市に住む人々の暮らしを支えてきたという歴史が背景にあります。現在も多摩の森林には、材木としての資源の供給のほか、気候、大気、植生、環境、癒しなど、多様な役割があります。

- ◎建設資材等のための木材生産
- ◎大気保全機能……二酸化炭素を吸収固定して酸素を供給
- ◎水源涵養機能……雨水を貯蓄し洪水を防止
- ◎災害防止機能……土砂の流出や崩壊を防止
- ◎保健休養機能……レクリエーションの場を提供し、心を癒す

近年では多摩の森林の荒廃が進み、森の恵みを享受している都市生活者にとっては、森に対する理解を深め、行動していくことが重要であると認識されています。

多摩の森林の水の流れ



## ——二俣尾・武蔵野市民の森事業とは

森林は、表土の保全・水源の涵養・自然環境の保全・地球温暖化の防止など、多面的な機能を有しています。その恩恵を受けている都市部の自治体として、多摩地区の森林を荒廃から守り、公的機能をより一層活かすための適正な整備とともに、武蔵野市民が自然とふれあい、地元住民と相互交流を図るよう、山林所有者・公益財団法人東京都農林水産振興財団・武蔵野市が相互協力し、山林の一部を「二俣尾・武蔵野市民の森」として保全活用することを目的に、協定を締結しています。

このような森林を守り育てる仕組みを「フォレスト・ガーディアン（＝森の番人・森を守る人）制度」と呼んでいます。

### 森林の保全・整備

武蔵野市は平成13年8月に「二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定」を締結し、森林施業実施計画の策定、間伐、間伐材搬出、林間刈払い、補植、歩道整備などの事業を実施しています。

### 森林の活用

都市側住民も恩恵を受けており、森を守ることの必要性などの認識を深め、森林を含む自然環境保全に対する一人一人の意識を高めるために、森林を活用した事業を行っています。



### ◎二俣尾・武蔵野市民の森 協定内容

締結者	山林所有者・公益財団法人東京都農林水産振興財団・武蔵野市
区域	東京都青梅市二俣尾4丁目1167番外 第1期=3.13ha（平成21年度に0.2haを追加） 第2期=7.02ha（森林整備区域4.09ha、利用啓発区域2.93ha）
期間	第1期=平成13年8月6日～平成23年3月31日（10年間） 第2期=平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間） 第3期=平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）
森林保育管理	間伐、伐採、枝打
啓発事業	武蔵野市民向け森林啓発講座



二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書

## ——二俣尾・武蔵野市民の森 自然体験館

多種多様な自然体験学習、武蔵野市にはない体験の提供を目的として、平成18年7月に開館。建物は多摩産材の木造建築で、天井が高く、風通しのよい設計になっています。

### ◎自然体験館

所在地	東京都青梅市二俣尾4丁目1115番地
敷地面積	1387m <sup>2</sup>
延床面積	123m <sup>2</sup>
設備	会議スペース、トイレ完備



二俣尾・武蔵野市民の森 自然体験館

## —森の市民講座

自然体験館で森林管理・多摩の森の現状・役割等の話を聞き、その後森林に入り山歩きを体験。体験館ではさまざまなワークショップを行い、森林保全の重要性や、二俣尾・武蔵野市民の森事業の意味や取組などについての理解を深めます。







## 参加者の感想抜粋

プログラム全体を通して感じたこと

- ・皆さんの手で森を作り上げることの大切さ。
- ・森を守ることは、とても大変だと思った。

改めて知ることができたこと

・東京都の36%が森林ということを知りました。自然を大切にすることが地球温暖化の防止にもつながると思います。リース作り、とても良い企画で楽しませていただきました。豚汁、白菜、こんにゃく刺し、すべて美味しく感動しました。ありがとうございました。感謝。

二俣尾に来たことがない人へのメッセージ

・親子で森歩きや自然と触れ合うことができます。今まで来たことがない方は、ぜひ来てみてください。森を歩いていると、とても気持ちよく、いろいろな植物を学べます。

・初めての参加で、武蔵野の森が二俣尾にあることを知りました。自然豊かな森の中で、このようなイベントに参加でき、子どもたちと楽しむことができました。都内にこんな自然に触れられる場所があるのはうれしいことです。ぜひ、みなさんも二俣尾にいらしてください。

## —森の市民講座のほか、二俣尾で行われている講座

二俣尾では、自然を活用した様々な講座を実施しています。

### ◎自然観察会

自然観察や森林の恵みを楽しみながら、水源涵養、国土保全、生態系保全といった森林の効果と現状を体感し、地域環境の重要性の意識を広める取り組みを行っています。



### ◎土曜学校 森林体験教室（生涯学習スポーツ課）

小中学生を対象にした、学校ではできないさまざまな体験活動を提供する生涯学習プログラムです。森林の中で、都会では得られない自然体験や林業体験を行い、多摩の森林と自分たちの暮らしのつながりに気づき、多摩の森林の保守や木材の現状、自然環境保全について学んでいます。



講座概要（講座内容及び実施月については、年度により変更になる可能性があります）

### ◎森の市民講座

森の散策のほか、季節にあわせた様々な体験ができます。

- 5月 草木染め体験
- 6月～7月 木工細工と燻製作り体験
- 8月 そうめん流し体験と苔玉作り体験
- 12月 森のクリスマスリース作り体験
- 2月 間伐体験と焼き芋作り体験

### ◎自然観察会

- 4月 青梅丘陵、野生のスミレとサクラ観察会
- 5月～6月 生きもの宝庫の里山、横沢入と秋川で動植物観察会
- 8月 自然を知る！家族でキャンプ体験  
青梅二俣尾で森の冒険家&川の生きもの博士になろう！
- 9月～10月 二俣尾の森で冒険遊びと竹でおもちゃ作り

### ◎土曜学校

- 5月～6月 森の探検、やまびこ体験、道づくり、丸太切り、木登り  
上級生向け講座：道づくり
- 10月～11月 上級生向け講座：道づくり、成果発表
- 11月～12月 山散策、やまびこ体験、たき火、地図作り

## ——二俣尾・武蔵野市民の森事業15年に寄せて

多摩の森林は、都民の生活を支える共通のかけがえない財産であり、森林は、水源の涵養、CO<sub>2</sub>の吸収・貯蔵など様々な公益的機能を持っています。この機能をより一層活かすために、森林整備の循環を取り戻し再生を促進させ、豊かな森林を保全維持する事業を当財団では行っております。

武蔵野市は多摩の森林の保全に早くから理解をいただき、都民との協働による森林づくり事業「市民参加の森づくり」や自治体として森林の保全、維持、またそれを支える多摩産材の公共事業への導入などを先駆けとして積極的に推進してこられました。

当財団は東京都、市町村及び関係団体と密に連携しながら森林の整備、維持のほか技術開発や提供などを行っており、その先進事例としてこの武蔵野市の二俣尾・武蔵野市民の森事業は15年の時を経て、特に誇れる事業となっています。武蔵野市の市民の皆様の深いご理解のもと良好な事業が継続できたと考えております。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、東京都の環境面での国際的な貢献の視点も欠かせないことと思われます。また二俣尾・武蔵野市民の森事業が15年の節目の年にあたり、この事業が都民の健全で豊かな生活に欠かせない役割を果たすとともに、森林の水源の涵養や土地の保全など公益的な役割等の啓発をさらに進めていく所存です。

ここに武蔵野市、森林所有者様、また事業のサポートを行っているエンジョイ・フォレスト女性林研の皆様へ深く感謝をしたいと思います。

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

エンジョイ・フォレスト女性林研 会長 福田珠子さん

武蔵野市のフォレスト・ガーディアン制度が始まって15年という月日に感慨深いものがあります。

発足してすぐ、都市の方たちに対して森林講座を持ってほしいという要望がありました。「想像をして創造をする」という女性ならではの視点で試行錯誤しながらやってきました。この事業は三者協定があるとはいえ武蔵野市民の方たちの理解と財団の協力は大変心強いものでした。それによって私共女性林研も様々な試みが出来たと感謝しております。この事業を全国の林業グループや林野庁の会議、イベント等で話し、都市住民の森林との関わりや森林への理解が重要だという発信をしてきました。

今後も都市と森林をつなげるために交流や環境教育など様々な活動をしていきたいと思っております。





